

令和6年産 大島地域 無加温マンゴー栽培暦

令和6年1月作成

月	旬	生育相	栽培管理		栽培管理上の注意	防除方法	
			主要管理	水管理		対象病害虫	防除薬剤と希釈倍数
8	中 下		整枝・せん定 施肥 天井除去	適湿 新梢充実のために十分なかん水を行う	<input type="checkbox"/> 一斉にせん定を実施する <input type="checkbox"/> 天井除去後はネット被覆管理（台風対策）	【収穫終了後】 炭そ病 ハダニ類 チャノキアザミマ かいよう病 チャノキアザミマ	オーツイト水和剤80 600倍 [ハーベストオイル 混用 100倍 モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍 ICボルト®-66D 40倍 キラップフロアブル 2,000倍
9	上 中下	新梢伸長期	葉面散布 新梢の整理 有機物マルチング		<input type="checkbox"/> 迅速な発芽・伸長確保のため窒素主体の葉面散布を行う <input type="checkbox"/> 肥料成分含量の低い素材でのマルチングで酷暑時期の土壌表層の保湿に備える	トコガ類 チャノキアザミマ	ロムタンフロアブル (使用回数2回以内) 2,000倍 シマダ イオン水和剤 800倍 トランスフォームフロアブル 2,000倍
10	上 中下		枝葉の整理		<input type="checkbox"/> 未充実部分の程度で摘葉または芽かきのいずれかの処理を行う	かいよう病 ICボルト®-66D 40倍	
11	上 中下	花芽分化期	誘引 補正せん定	節水 極度の乾燥を避けてかん水を行う	<input type="checkbox"/> 過密すぎる箇所の枝を制限する	チャノキアザミマ ハダニ類 かいよう病	コテツフロアブル 2,000倍 サンマイル水和剤 1,000倍 ICボルト®-66D 40倍
12	上 中下						
1	上 中下	萌芽期 出蕾期	天井被覆 ツマ・サイド被覆 受粉昆虫準備	湿潤 晴天日の午前中にかん水して過湿を避ける	<input type="checkbox"/> ビニル被覆以降はハウス内が過度な高温とにならないよう換気に努める	炭そ病 【被覆直後】 炭そ病	アミスター10フロアブル 1,000倍 (落ち葉や枝等の除去を徹底) ヘルコート水和剤 1,000倍
2	上 中下	花穂伸長期	混合花の摘葉 摘房・整形 施肥			チャノキアザミマ	[カスケード乳剤 混用 2,000倍 スピノエース顆粒水和剤 5,000倍
3	上 中下	開花始期 開花盛期	受粉昆虫放飼 花穂吊り		<input type="checkbox"/> ハウスの換気は十分行って過湿を防ぐ一方24℃前後を極力保つ	軸腐病 灰色かび病 チャノキアザミマ	スミレックス水和剤 1,000倍 ロブラル水和剤 1,000倍 コルト顆粒水和剤 2,000倍
4	上 中下	生理落果期 果実肥大期	粗摘果・玉吊り	適湿 果実肥大と増糖を進めるために適宜かん水を行って保湿を保つ	<input type="checkbox"/> 花穂、果実の吊り上げは極端に引き上げ過ぎないように留意する	カガラムシ類幼虫 炭そ病 ハダニ類	アプロートフロアブル 1,000倍 セビアーフロアブル20 1,000倍 カネマイルフロアブル 1,000倍
5	上 中下		仕上げ摘果 施肥 日焼け対策		<input type="checkbox"/> 開花盛期30~40日後を目安に最終着果量に仕上げる <input type="checkbox"/> 内ネット被覆や紙傘などで日焼けを防ぐ		
6							
7	上 中下	成熟期	ネット掛け 台風対策 収穫・調製				

農薬使用基準を遵守して安心・安全な果実生産に努めよう！

★収穫後は、1年に1回土壌分析を行いましょう！

基幹防除…発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
 補完防除…発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和5年11月28日現在の登録内容を記載

[耕種的防除による病害虫発生軽減対策]

- 通気性を良好に保つために、過密な樹相を解消する
- 換気を行い、ハウス内の温湿度を適正に維持する
- ハウス内外の除草など、環境整備に努める
- 果実肥大期の発生新梢は、芽かきして園外に持ち出す
- 発病枝やせん定枝など、病害虫発生源は園外に持ち出す

[施肥時期と施用量]

施肥時期	肥料の種類	10a当たり収量		
		1.0t	1.5t	2.0t
8月中旬	奄美果樹配合	100kg	110kg	125kg
2月上旬	または	60kg	65kg	75kg
5月上旬	蜜のめぐみ2号	40kg	45kg	50kg
年間窒素成分量 (kg)		16	18	20

鹿児島県園芸振興協議会大島支部

【連絡先】 大島支庁農林水産部農政普及課 0997-57-7274
 (同) 瀬戸内町駐在 0997-72-0184
 (同) 喜界町駐在 0997-65-3019

令和6年産 大島地域 無加温マンゴー栽培暦（天敵製剤利用版）

令和6年1月作

月	旬	生育相	栽培管理		栽培管理上の注意	防除方法	
			主要管理	水管理		対象病虫害	防除薬剤と希釈倍数
8	中下		整枝・せん定 施肥 天井除去	適湿 新梢充実のために十分なかん水を行う	□一斉にせん定を実施する □天井除去後はネット被覆管理（台風対策）	【収穫終了後】 炭そ病 ハダニ類 チャノキアザミマ かいよう病 チャノキアザミマ	オーソイト® 水和剤80 600倍 「ハーベストオイル 混用」 「モスピラン顆粒水溶剤」 2,000倍 ICホールド®-66D 40倍 キラップ®フロアブル 2,000倍
9	上中下	新梢伸長期	葉面散布 新梢の整理 有機物マルチング		□迅速な発芽・伸長確保のため窒素主体の葉面散布を行う □肥料成分含量の低い素材でのマルチングで酷暑時期の土壌表層の保湿に備える	トクガ類	ロムタン®フロアブル（使用回数2回以内） 2,000倍
10	上中下		枝葉の整理		□未充実部分の程度で摘葉または芽かきのいずれかの処理を行う	炭そ病 カイガラムシ類	ジマダ®イオン水和剤 800倍 トランスフォーム®フロアブル 2,000倍
11	上中下	花芽分化期	誘引 補正せん定	節水 極度の乾燥を避けてかん水を行う	□過密すぎる箇所の枝を制限する	チャノキアザミマ ハダニ類	コテツ®フロアブル 2,000倍 サンライト水和剤 1,000倍
12	上中下					かいよう病	ICホールド®-66D 40倍
1	上中下	萌芽期 出蕾期	天井被覆 ツマ・サイド®被覆 受粉昆虫準備	湿潤 晴天日の午前中にかん水して過湿を避ける	□ビニル被覆以降はハウス内が過度な高温とにならないよう換気に努める	炭そ病 【被覆直後】 炭そ病	アミスター10®フロアブル 1,000倍 （落ち葉や枝等の除去を徹底） ベルコート水和剤 1,000倍
2	上中下	花穂伸長期	混合花の摘葉 摘房・整形 施肥			チャノキアザミマ	「カスケード® 乳剤 混用」 2,000倍 「スピノエース顆粒水和剤」 5,000倍 ↓ 【2週間以上あける】
3	上中下	開花始期 開花盛期	受粉昆虫放飼 花穂吊り		□ハウスの換気は十分行って過湿を防ぐ一方で24℃前後を極力保つ	チャノキアザミマ 軸腐病	天敵製剤設置（下記※部分参照） スミレックス水和剤 1,000倍
4	上中下	生理落果期 果実肥大期	粗摘果・玉吊り	適湿 果実肥大と増糖を進めるために適宜かん水を行って保湿を保つ	□花穂、果実の吊り上げは極端に引き上げ過ぎないように留意する	カイガラムシ類幼虫 炭そ病	アプロード®フロアブル 1,000倍 セイバー®フロアブル20 1,000倍
5	上中下	仕上げ摘果 施肥 日焼け対策			□開花盛期30~40日後を目安に最終着果量に仕上げる □内ネット被覆や紙傘などで日焼けを防ぐ	ハダニ類 チャノキアザミマ	カネマイト®フロアブル 1,000倍 コルト顆粒水和剤 2,000倍
6							
7	上中下	成熟期	ネット掛け 台風対策 収穫・調製				

農薬使用基準を遵守して安心・安全な果実生産に努めよう！

★収穫後は、1年に1回土壌分析を行いましょう！

※スワルスキープラスUM(1~4パック/樹)
但し、ハダニ類発生も憂慮される場合は以下を同時放飼とする
→ スパイクプラス(1~5パック/樹)
【詳細は、奄美版天敵利用マニュアルを参照】

基幹防除・・・発生を抑えるため、できるだけ防除に努めましょう。
補完防除・・・発生状況をみながら、必要に応じて防除しましょう。

令和5年11月28日現在の登録内容を記載

【施肥時期と施用量】

施肥時期	肥料の種類	10a当たり収量		
		1.0t	1.5t	2.0t
8月中旬	奄美果樹配合	100kg	110kg	125kg
2月上旬	または	60kg	65kg	75kg
5月上旬	蜜のめぐみ2号	40kg	45kg	50kg
年間窒素成分量 (kg)		16	18	20

- 【耕種的防除による病虫害発生軽減対策】**
- 通気性を良好に保つために、過密な樹相を解消する
 - 換気を行い、ハウス内の温湿度を適正に維持する
 - ハウス内外の除草など、環境整備に努める
 - 果実肥大期の発生新梢は、芽かきして園外に持ち出す
 - 発病枝やせん定枝など、病虫害発生源は園外に持ち出す

【連絡先】 大島支庁農林水産部農政普及課 0997-57-7274
 (同) 瀬戸内町駐在 0997-72-0184
 (同) 喜界町駐在 0997-65-3019